

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2014年1月24日～2019年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	資産成長コース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨αコース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券への分散投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド （資産成長コース／通貨αコース）

### 運用報告書（全体版）

資産成長コース	第5期（決算日	2016年7月19日）
	第24期（決算日	2016年2月17日）
	第25期（決算日	2016年3月17日）
	第26期（決算日	2016年4月18日）
	第27期（決算日	2016年5月17日）
通貨αコース	第28期（決算日	2016年6月17日）
	第29期（決算日	2016年7月19日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース）」は、さる7月19日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5620>  
<5621>

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

★ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 7月17日)	10,561	10	5.7	10,715	7.1	1.0	98.1	7,740
2 期末 (2015年 1月19日)	11,236	10	6.5	11,018	2.8	0.8	97.3	5,274
3 期末 (2015年 7月17日)	11,018	10	△ 1.9	11,024	0.0	1.0	96.6	3,546
4 期末 (2016年 1月18日)	9,233	10	△ 16.1	9,052	△ 17.9	1.6	95.8	2,303
5 期末 (2016年 7月19日)	9,233	10	0.1	9,641	6.5	0.5	96.1	1,861

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

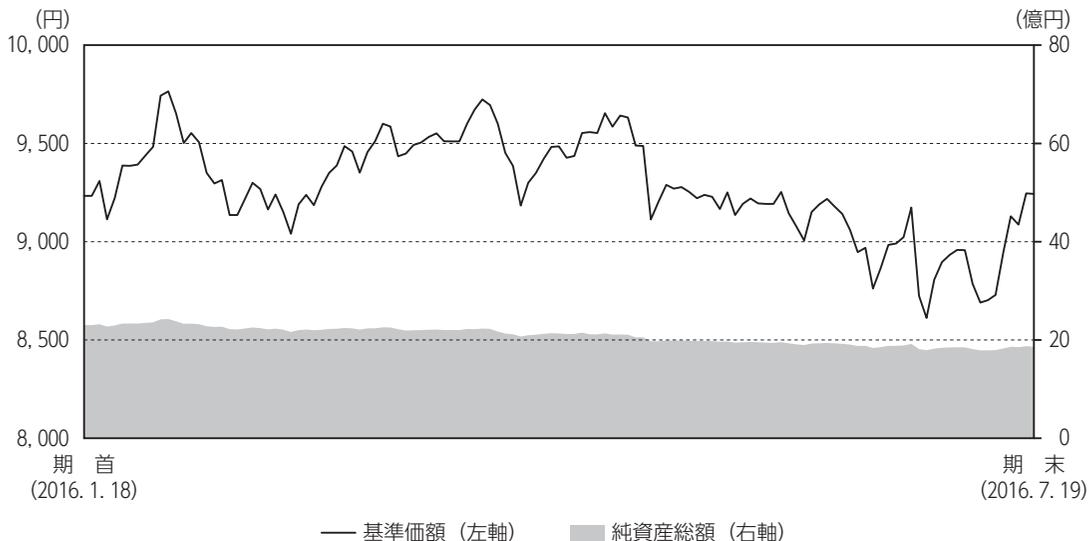
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,233円

期末：9,233円（分配金10円）

騰落率：0.1%（分配金込み）

### ■ 基準価額の変動要因

為替相場が円に対して下落したことはマイナス要因となりましたが、投資している債券の利息収入や債券価格の上昇がプラスに寄与し、基準価額は小幅に上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2016年 1月18日	9,233	—	9,052	—	1.6	95.8
1月末	9,483	2.7	9,510	5.1	2.0	96.2
2月末	9,238	0.1	9,142	1.0	1.1	95.5
3月末	9,672	4.8	9,860	8.9	—	97.6
4月末	9,632	4.3	9,757	7.8	0.1	96.3
5月末	9,192	△ 0.4	9,478	4.7	0.0	97.2
6月末	8,896	△ 3.6	9,269	2.4	0.0	97.0
(期末) 2016年 7月19日	9,243	0.1	9,641	6.5	0.5	96.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○新興国債券市況

新興国債券市況は、期を通してみると金利はおおむね低下しました。米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方に加え、中国経済に対する懸念の後退や商品価格の反発、世界的な株式市況の上昇からリスクセンチメントが改善する中で、多くの新興国債券が買われる展開となりました。

#### ・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、市場心理の改善や中央銀行の新総裁人事が好感されたこと、周辺国との関係改善の動きを受けて金利は低下しました。南アフリカでは、大統領の弾劾投票や財務相逮捕のうわさなどによる政治不透明感が嫌気されたものの、市場心理の改善から金利は低下しました。ポーランドでは、財政支出拡大方針を受けて格付会社が見通しの引き下げを行なったものの、金利はほぼ横ばいでの推移となりました。

#### ・アジア地域

インドネシアでは、中央銀行の金融緩和を受けて金利は低下しました。マレーシアでは、政策金利は据え置かれたものの、今後の金融緩和を織り込む動きから金利低下となりました。タイについては、期を通してみると小幅な値動きにとどまりました。

#### ・中南米地域

ブラジルでは、テメル暫定政権の発足と財政改革期待を受けて金利低下となりました。メキシコでは、通貨防衛のために中央銀行が利上げを行なった一方で、新興国全体に対する市場心理の改善もあり、金利はほぼ横ばいでの推移となりました。ペルーでは、市場心理の改善や原油価格の反発などを受けて金利は低下しました。

### ○為替相場

米国の利上げ懸念や中国経済に対する懸念が後退する中で新興国通貨は買われる動きがあったものの、日銀の金融政策をめぐる思惑によって円高が進行したことから、対円ではおおむね横ばいから下落となりました。

#### ・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、大統領の権限強化に対する懸念や政策金利の引き下げを受けて対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治に対する不透明感が懸念されたものの、商品価格の反発傾向を受けて対円で一進一退の推移となりました。ポーランド・ズロチは、格下げ懸念や英国のEU（欧州連合）離脱の国民投票の結果を受けて対円で下落しました。

・アジア地域

マレーシア・リングgitは、円高圧力の一方で商品価格上昇の影響もあったことから対円ではほぼ横ばいとなりました。インドネシア・ルピアは、中央銀行の金融緩和姿勢から対円で下落しました。タイ・バーツは、日銀の金融政策をめぐる思惑によって円高が進展したことから対円で下落となりました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、ルセフ大統領の弾劾手続きにおける職務停止が成立したことによる政治不透明感の後退から、対円で上昇しました。ペルー・ソルは、商品価格の反発が買い材料となったものの、円高圧力から対円で下落しました。メキシコ・ペソは、国営石油会社ペメックスの経営不振や米国の大統領選挙での共和党トランプ候補の対メキシコ強硬発言もあり対円で下落しました。

**前期における「今後の運用方針」**

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」）といえます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

### ○エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.0（年）程度～3.0（年）程度の範囲内でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

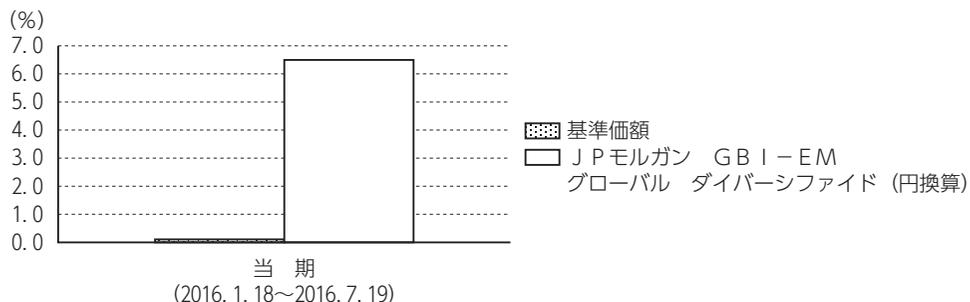
### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年1月19日 ～2016年7月19日	
当期分配金（税込み）	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.11
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,974

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	268.20円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	34.01
(d) 分配準備積立金	1,682.27
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,984.49
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,974.49

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ○エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016. 1. 19~2016. 7. 19)		
	金 額	比 率	
信託報酬	54円	0.580%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は9,278円です。</b>
（投信会社）	(15)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(38)	(0.405)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0.584	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

### ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

	買 付		売 付	
	口 数 千口	金 額 千円	口 数 千口	金 額 千円
外国 (邦貨建)	873,191	72,603	5,224,781	437,729

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	口 数 千口	金 額 千円	平均単価 円		口 数 千口	金 額 千円	平均単価 円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	5,224,781	437,729	83

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

#### (1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

#### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

区 分	当 期			当 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 99,623	百万円 16,540	% 16.6	百万円 11,349	百万円 —	% —
コール・ローン	2,979,848	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

#### (3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

### ■組入資産明細表

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数 千口	評価額 千円	比 率 %
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	21,903,674	1,788,894	96.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	49,082	49,082	50,049

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年7月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,788,894	94.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	50,049	2.6
コール・ローン等、その他	58,442	3.1
投資信託財産総額	1,897,386	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年7月19日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,930,886,222円</b>
コール・ローン等	24,942,162
投資信託受益証券（評価額）	1,788,894,994
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	50,049,067
未収入金	66,999,999
<b>(B) 負債</b>	<b>69,722,103</b>
未払金	33,500,000
未払収益分配金	2,015,694
未払解約金	21,989,438
未払信託報酬	12,132,414
その他未払費用	84,557
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>1,861,164,119</b>
元本	2,015,694,288
次期繰越損益金	△ 154,530,169
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,015,694,288口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	9,233円

\*期首における元本額は2,494,937,804円、当期中における追加設定元本額は1,315,328円、同解約元本額は480,558,844円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は9,233円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は154,530,169円です。

■損益の状況

当期 自2016年1月19日 至2016年7月19日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>66,284,860円</b>
受取配当金	66,284,998
受取利息	1,873
支払利息	△ 2,011
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 52,020,237</b>
売買益	12,804,925
売買損	△ 64,825,162
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 12,217,010</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>2,047,613</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 160,926,298</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>6,364,210</b>
（配当等相当額）	（ 6,856,249）
（売買損益相当額）	（△ 492,039）
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>△ 152,514,475</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 2,015,694</b>
<b>次期繰越損益金（G＋H）</b>	<b>△ 154,530,169</b>
追加信託差損益金	6,364,210
（配当等相当額）	（ 6,856,249）
（売買損益相当額）	（△ 492,039）
分配準備積立金	391,141,348
繰越損益金	△ 552,035,727

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	54,061,944円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	6,856,249
(d) 分配準備積立金	339,095,098
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	400,013,291
(f) 分配金	2,015,694
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	397,997,597
(h) 受益権総口数	2,015,694,288口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は7月19日現在の基準価額（1万口当り9,233円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 3月17日)	9,950	100	0.5	9,917	△ 0.8	0.8	98.1	26,778
2 期末 (2014年 4月17日)	10,101	100	2.5	10,328	4.1	1.0	98.6	27,358
3 期末 (2014年 5月19日)	10,071	100	0.7	10,540	2.0	0.8	98.4	27,373
4 期末 (2014年 6月17日)	10,023	100	0.5	10,588	0.5	0.7	98.6	27,142
5 期末 (2014年 7月17日)	10,019	100	1.0	10,715	1.2	0.8	98.7	26,838
6 期末 (2014年 8月18日)	9,914	100	△ 0.0	10,648	△ 0.6	0.8	98.5	26,263
7 期末 (2014年 9月17日)	9,968	100	1.6	10,888	2.3	0.7	98.3	25,797
8 期末 (2014年10月17日)	9,673	100	△ 2.0	10,621	△ 2.5	0.8	98.2	24,525
9 期末 (2014年11月17日)	10,184	100	6.3	11,473	8.0	0.8	98.3	25,273
10 期末 (2014年12月17日)	9,779	100	△ 3.0	10,620	△ 7.4	0.5	98.6	23,393
11 期末 (2015年 1月19日)	9,838	100	1.6	11,018	3.7	0.8	98.5	22,819
12 期末 (2015年 2月17日)	9,650	100	△ 0.9	11,005	△ 0.1	0.5	98.6	20,381
13 期末 (2015年 3月17日)	9,336	100	△ 2.2	10,562	△ 4.0	0.6	96.6	18,518
14 期末 (2015年 4月17日)	9,302	100	0.7	10,907	3.3	0.6	97.2	17,530
15 期末 (2015年 5月18日)	9,283	100	0.9	11,155	2.3	0.7	98.0	16,732
16 期末 (2015年 6月17日)	9,152	100	△ 0.3	10,933	△ 2.0	0.7	97.7	15,834
17 期末 (2015年 7月17日)	9,091	100	0.4	11,024	0.8	0.9	97.5	15,230
18 期末 (2015年 8月17日)	8,726	100	△ 2.9	10,492	△ 4.8	0.9	96.5	13,917
19 期末 (2015年 9月17日)	8,068	100	△ 6.4	9,749	△ 7.1	1.1	96.1	12,146
20 期末 (2015年10月19日)	8,103	80	1.4	10,089	3.5	1.0	95.9	11,299
21 期末 (2015年11月17日)	8,061	80	0.5	10,030	△ 0.6	1.0	97.0	10,457
22 期末 (2015年12月17日)	7,828	80	△ 1.9	9,675	△ 3.5	1.3	96.4	9,717
23 期末 (2016年 1月18日)	7,323	80	△ 5.4	9,052	△ 6.4	1.7	96.1	8,648
24 期末 (2016年 2月17日)	7,266	80	0.3	9,158	1.2	1.6	96.9	8,316
25 期末 (2016年 3月17日)	7,377	80	2.6	9,425	2.9	0.2	96.6	8,159
26 期末 (2016年 4月18日)	7,317	80	0.3	9,591	1.8	—	97.3	7,821
27 期末 (2016年 5月17日)	7,116	80	△ 1.7	9,494	△ 1.0	1.2	96.9	7,423
28 期末 (2016年 6月17日)	6,761	80	△ 3.9	9,071	△ 4.4	2.0	96.7	6,665
29 期末 (2016年 7月19日)	6,949	80	4.0	9,641	6.3	0.5	96.7	6,609

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

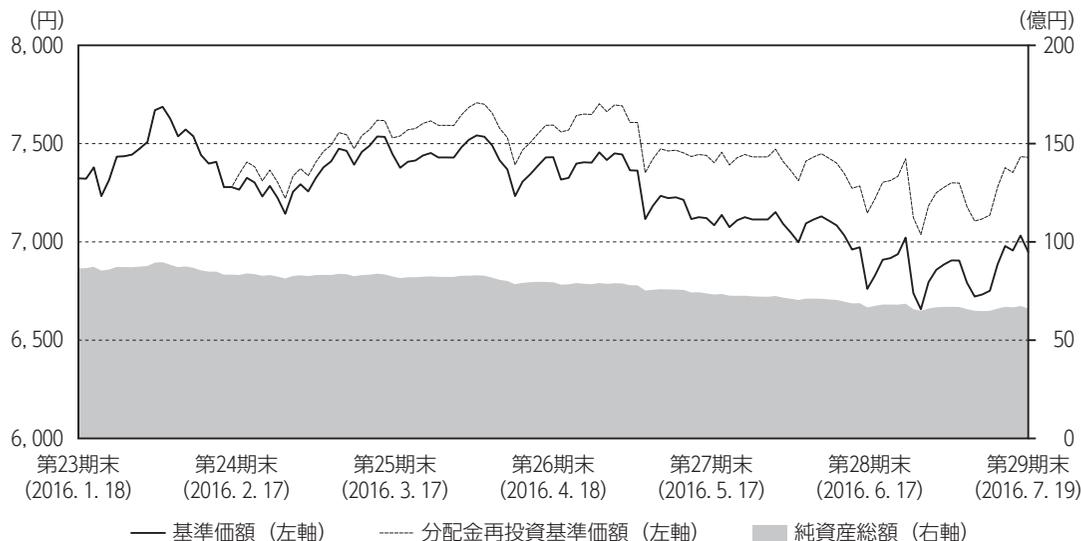
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかにについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

### ■基準価額・騰落率

第24期首：7,323円

第29期末：6,949円（既払分配金480円）

騰落率：1.5%（分配金再投資ベース）

### ■基準価額の主な変動要因

投資している通貨が円に対して下落したことはマイナス要因となりましたが、通貨オプション取引によるプレミアム収入や債券の利息収入、債券価格の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
		円	%		%	%	%
第24期	(期首)2016年1月18日	7,323	—	9,052	—	1.7	96.1
	1月末	7,508	2.5	9,510	5.1	2.1	97.3
	(期末)2016年2月17日	7,346	0.3	9,158	1.2	1.6	96.9
第25期	(期首)2016年2月17日	7,266	—	9,158	—	1.6	96.9
	2月末	7,293	0.4	9,142	△ 0.2	1.2	95.0
	(期末)2016年3月17日	7,457	2.6	9,425	2.9	0.2	96.6
第26期	(期首)2016年3月17日	7,377	—	9,425	—	0.2	96.6
	3月末	7,520	1.9	9,860	4.6	—	97.1
	(期末)2016年4月18日	7,397	0.3	9,591	1.8	—	97.3
第27期	(期首)2016年4月18日	7,317	—	9,591	—	—	97.3
	4月末	7,445	1.7	9,757	1.7	0.1	97.3
	(期末)2016年5月17日	7,196	△ 1.7	9,494	△ 1.0	1.2	96.9
第28期	(期首)2016年5月17日	7,116	—	9,494	—	1.2	96.9
	5月末	7,114	△ 0.0	9,478	△ 0.2	0.0	97.0
	(期末)2016年6月17日	6,841	△ 3.9	9,071	△ 4.4	2.0	96.7
第29期	(期首)2016年6月17日	6,761	—	9,071	—	2.0	96.7
	6月末	6,858	1.4	9,269	2.2	0.0	96.7
	(期末)2016年7月19日	7,029	4.0	9,641	6.3	0.5	96.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○新興国債券市況

新興国債券市況は、当作成期間を通してみると金利はおおむね低下しました。米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方に加え、中国経済に対する懸念の後退や商品価格の反発、世界的な株式市況の上昇からリスクセンチメントが改善する中で、多くの新興国債券が買われる展開となりました。

#### ・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、市場心理の改善や中央銀行の新総裁人事が好感されたこと、周辺国との関係改善の動きを受けて金利は低下しました。南アフリカでは、大統領の弾劾投票や財務相逮捕のうわさなどによる政治不透明感が嫌気されたものの、市場心理の改善から金利は低下しました。ポーランドでは、財政支出拡大方針を受けて格付会社が見通しの引き下げを行なったものの、金利はほぼ横ばいでの推移となりました。

#### ・アジア地域

インドネシアでは、中央銀行の金融緩和を受けて金利は低下しました。マレーシアでは、政策金利は据え置かれたものの、今後の金融緩和を織り込む動きから金利低下となりました。タイについては、当期間を通してみると小幅な値動きにとどまりました。

#### ・中南米地域

ブラジルでは、テメル暫定政権の発足と財政改革期待を受けて金利低下となりました。メキシコでは、通貨防衛のために中央銀行が利上げを行なった一方で、新興国全体に対する市場心理の改善もあり、金利はほぼ横ばいでの推移となりました。ペルーでは、市場心理の改善や原油価格の反発などを受けて金利は低下しました。

### ○為替相場

米国の利上げ懸念や中国経済に対する懸念が後退する中で新興国通貨は買われる動きがあったものの、日銀の金融政策をめぐる思惑によって円高が進行したことから、対円ではおおむね横ばいから下落となりました。

#### ・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、大統領の権限強化に対する懸念や政策金利の引き下げを受けて対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、政治に対する不透明感が懸念されたものの、商品価格の反発傾向を受けて対円で一進一退の推移となりました。ポーランド・ズロチは、格下げ懸念や英国のEU（欧州連合）離脱の国民投票の結果を受けて対円で下落しました。

・アジア地域

マレーシア・リンギットは、円高圧力の一方で商品価格上昇の影響もあったことから対円ではほぼ横ばいとなりました。インドネシア・ルピアは、中央銀行の金融緩和姿勢から対円で下落しました。タイ・バーツは、日銀の金融政策をめぐる思惑によって円高が進展したことから対円で下落となりました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、ルセフ大統領の弾劾手続きにおける職務停止が成立したことによる政治不透明感の後退から、対円で上昇しました。ペルー・ソルは、商品価格の反発が買い材料となったものの、円高圧力から対円で下落しました。メキシコ・ペソは、国営石油会社ペメックスの経営不振や米国の大統領選挙での共和党トランプ候補の対メキシコ強硬発言もあり対円で下落しました。

○為替ボラティリティ相場

新興国通貨のボラティリティは不安定な推移となりました。各国の個別材料が相場を動かす要因となったほか、日銀の金融政策をめぐる思惑も相場を動かす材料となりました。

**前作成期間末における「今後の運用方針」**

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当作成期間を通じてエマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

### ○エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

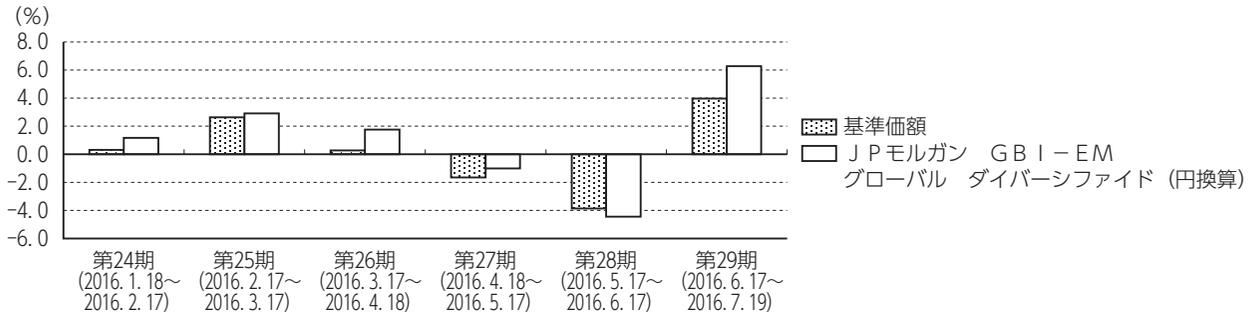
- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.0（年）程度～3.0（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

### ○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

第24期から第29期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ80円といたしました。  
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	2016年1月19日 ～2016年2月17日	2016年2月18日 ～2016年3月17日	2016年3月18日 ～2016年4月18日	2016年4月19日 ～2016年5月17日	2016年5月18日 ～2016年6月17日	2016年6月18日 ～2016年7月19日
当期分配金（税込み）（円）	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率（%）	1.09	1.07	1.08	1.11	1.17	1.14
当期の収益（円）	80	80	80	80	80	80
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	121	144	180	214	233	263

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	95.73円	102.90円	115.84円	113.75円	99.05円	110.42円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	10.78	10.99	11.26	11.58	11.98	12.45
(d) 分配準備積立金	95.39	110.91	133.56	169.08	202.43	221.03
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	201.91	224.81	260.66	294.42	313.48	343.91
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	121.91	144.81	180.66	214.42	233.48	263.91

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第29期		項 目 の 概 要
	(2016. 1. 19～2016. 7. 19)		
	金 額	比 率	
信託報酬	42円	0.580%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は7,246円です。</b>
（投信会社）	(12)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(29)	(0.405)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0.054	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
（投資信託受益証券）	(4)	(0.054)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	46	0.637	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

### ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

決算期	第24期～第29期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	10,282.757	721,808	29,687.817	2,097,873

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

銘柄	第24期			第29期		
	買付			売付		
	□数	金額	平均単価	□数	金額	平均単価
EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	円	千口	千円	円
	49.049	3,300	67	29,687.817	2,097,873	70

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

#### (1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第24期～第29期）中における利害関係人との取引はありません。

#### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年1月19日から2016年7月19日まで)

区分	第24期			第29期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 99,623	百万円 16,540	% 16.6	百万円 11,349	百万円 —	% —
コール・ローン	2,979,848	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

#### (3) 当作成期間中における売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第24期～第29期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 29 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	94,897.517	6,394,669	96.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第23期末	第 29 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	196,290	196,290	200,157

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年7月19日現在

項 目	第 29 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	6,394,669	94.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	200,157	3.0
コール・ローン等、その他	154,576	2.3
投資信託財産総額	6,749,402	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年2月17日)、(2016年3月17日)、(2016年4月18日)、(2016年5月17日)、(2016年6月17日)、(2016年7月19日)現在

項 目	第24期末	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末
<b>(A) 資産</b>	<b>8,427,457,488円</b>	<b>8,303,819,197円</b>	<b>8,003,064,342円</b>	<b>7,604,664,565円</b>	<b>6,786,489,189円</b>	<b>6,802,396,165円</b>
コール・ローン等	170,552,125	223,370,937	163,389,643	123,825,370	114,470,286	101,582,372
投資信託受益証券 (評価額)	8,056,728,726	7,880,271,623	7,609,558,063	7,191,840,558	6,446,313,096	6,394,669,186
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	200,176,637	200,176,637	200,176,637	200,176,637	200,157,008	200,157,008
未収入金	—	—	29,939,999	88,822,000	25,548,799	105,987,599
<b>(B) 負債</b>	<b>110,581,814</b>	<b>143,854,188</b>	<b>181,150,840</b>	<b>180,807,571</b>	<b>121,309,103</b>	<b>192,744,872</b>
未払金	—	—	14,970,000	44,411,000	12,774,400	52,993,800
未払収益分配金	91,570,100	88,489,514	85,514,990	83,456,120	78,865,977	76,089,493
未払解約金	10,718,400	47,610,802	72,230,562	45,556,712	22,323,608	56,556,817
未払信託報酬	8,235,875	7,643,123	8,266,877	7,165,103	7,077,367	6,789,655
その他未払費用	57,439	110,749	168,411	218,636	267,751	315,107
<b>(C) 純資産総額 (A-B)</b>	<b>8,316,875,674</b>	<b>8,159,965,009</b>	<b>7,821,913,502</b>	<b>7,423,856,994</b>	<b>6,665,180,086</b>	<b>6,609,651,293</b>
元本	11,446,262,613	11,061,189,331	10,689,373,806	10,432,015,065	9,858,247,136	9,511,186,638
次期繰越損益金	△ 3,129,386,939	△ 2,901,224,322	△ 2,867,460,304	△ 3,008,158,071	△ 3,193,067,050	△ 2,901,535,345
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>11,446,262,613口</b>	<b>11,061,189,331口</b>	<b>10,689,373,806口</b>	<b>10,432,015,065口</b>	<b>9,858,247,136口</b>	<b>9,511,186,638口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	7,266円	7,377円	7,317円	7,116円	6,761円	6,949円

\*第23期末における元本額は11,811,007,918円、当作成期間 (第24期～第29期) 中における追加設定元本額は129,001,886円、同解約元本額は2,428,823,166円です。

\*第29期末の計算口数当りの純資産額は6,949円です。

\*第29期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,901,535,345円です。

# ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

## ■損益の状況

	第24期 自 2016年 1月19日 至 2016年 2月17日	第25期 自 2016年 2月18日 至 2016年 3月17日	第26期 自 2016年 3月18日 至 2016年 4月18日	第27期 自 2016年 4月19日 至 2016年 5月17日	第28期 自 2016年 5月18日 至 2016年 6月17日	第29期 自 2016年 6月18日 至 2016年 7月19日
項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(A) 配当等収益	117,877,623円	117,968,626円	132,152,816円	125,894,054円	104,789,206円	107,852,249円
受取配当金	117,869,428	117,968,458	132,152,813	125,895,412	104,791,054	107,853,799
受取利息	8,195	168	3	5	16	14
支払利息	—	—	—	△ 1,363	△ 1,864	△ 1,564
(B) 有価証券売買損益	△ 82,795,338	101,098,585	△ 102,077,804	△ 244,955,407	△ 369,155,063	154,191,978
売買益	14,724,054	102,778,148	4,117,538	4,407,696	3,849,407	158,798,415
売買損	△ 97,519,392	△ 1,679,563	△ 106,195,342	△ 249,363,103	△ 373,004,470	△ 4,606,437
(C) 信託報酬等	△ 8,293,314	△ 7,696,433	△ 8,324,539	△ 7,215,328	△ 7,126,732	△ 6,837,011
(D) 当期損益金 (A + B + C)	26,788,971	211,370,778	21,750,473	△ 126,276,681	△ 271,492,589	255,207,216
(E) 前期繰越損益金	△ 3,018,926,089	△ 2,974,277,831	△ 2,750,263,015	△ 2,741,040,801	△ 2,782,981,703	△ 3,016,696,482
(F) 追加信託差損益金	△ 45,679,721	△ 49,827,755	△ 53,432,772	△ 57,384,469	△ 59,726,781	△ 63,956,586
(配当等相当額)	( 12,345,850)	( 12,166,462)	( 12,037,585)	( 12,088,157)	( 11,818,493)	( 11,844,631)
(売買損益相当額)	(△ 58,025,571)	(△ 61,994,217)	(△ 65,470,357)	(△ 69,472,626)	(△ 71,545,274)	(△ 75,801,217)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 3,037,816,839	△ 2,812,734,808	△ 2,781,945,314	△ 2,924,701,951	△ 3,114,201,073	△ 2,825,445,852
(H) 収益分配金	△ 91,570,100	△ 88,489,514	△ 85,514,990	△ 83,456,120	△ 78,865,977	△ 76,089,493
次期繰越損益金 (G + H)	△ 3,129,386,939	△ 2,901,224,322	△ 2,867,460,304	△ 3,008,158,071	△ 3,193,067,050	△ 2,901,535,345
追加信託差損益金	△ 45,679,721	△ 49,827,755	△ 53,432,772	△ 57,384,469	△ 59,726,781	△ 63,956,586
(配当等相当額)	( 12,345,850)	( 12,166,462)	( 12,037,585)	( 12,088,157)	( 11,818,493)	( 11,844,631)
(売買損益相当額)	(△ 58,025,571)	(△ 61,994,217)	(△ 65,470,357)	(△ 69,472,626)	(△ 71,545,274)	(△ 75,801,217)
分配準備積立金	127,201,953	148,020,621	181,083,833	211,599,914	218,355,330	239,169,002
繰越損益金	△ 3,210,909,171	△ 2,999,417,188	△ 2,995,111,365	△ 3,162,373,516	△ 3,351,695,599	△ 3,076,747,761

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	109,585,460円	113,822,110円	123,828,207円	118,668,928円	97,653,747円	105,031,806円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	12,345,850	12,166,462	12,037,585	12,088,157	11,818,493	11,844,631
(d) 分配準備積立金	109,186,593	122,688,025	142,770,616	176,387,106	199,567,560	210,226,689
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	231,117,903	248,676,597	278,636,408	307,144,191	309,039,800	327,103,126
(f) 分配金	91,570,100	88,489,514	85,514,990	83,456,120	78,865,977	76,089,493
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	139,547,803	160,187,083	193,121,418	223,688,071	230,173,823	251,013,633
(h) 受益権総口数	11,446,262,613口	11,061,189,331口	10,689,373,806口	10,432,015,065口	9,858,247,136口	9,511,186,638口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第24期	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期
	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(7, 266円)	(7, 377円)	(7, 317円)	(7, 116円)	(6, 761円)	(6, 949円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－  
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド  
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2016年7月19日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書

2015年5月31日

資産

損益通算公正価値金融資産	ドル	157,150,276
現金および現金同等物		5,336,014
未収：		
売却済み有価証券		1,656,875
利息		2,307,966
前払報酬		—
総資産		<u>166,451,131</u>

負債

損益通算公正価値金融負債		1,776,773
未払：		
償還済みの受益証券		2,417,503
購入証券		1,679,384
保管報酬		62,329
報酬代理店報酬		53,514
副投資運用会社報酬		42,954
専門家報酬		36,911
管理会社報酬		18,687
名義書き換え代理報酬		3,570
負債（買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産を除く）		<u>6,091,625</u>
買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産	ドル	<u>160,359,506</u>

包括利益計算書

2015年5月31日に終了した年度

<b>収益</b>	
利息	ドル 14,913,069
損益通算公正価値金融資産および負債による純実現（損失）／利益	(10,558,338)
外貨取引による純実現損失	(1,512,967)
損益通算公正価値金融資産および負債による評価（損）／益の純変動	(34,371,343)
外国為替換算による評価（損）／益の純変動	(112,866)
収益合計	<u>(31,642,445)</u>
<b>費用</b>	
副投資運用会社報酬	770,407
報酬代理店報酬	472,189
保管報酬	439,153
管理会社報酬	153,546
名義書き換え代理報酬	30,896
受託会社報酬	14,960
専門家報酬	—
費用合計	<u>1,881,151</u>
<b>金融費用控除前営業（損失）／利益</b>	<u>(33,523,596)</u>
<b>金融費用</b>	
買戻償還可能受益証券保有者に対する分配金	<u>(29,023,909)</u>
<b>分配金控除後税引前（損失）／利益</b>	(62,547,505)
源泉徴収税	(899,367)
業務活動の結果生じた買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産の（減少）／増加額	<u>ドル (63,446,872)</u>

投資明細  
2015年5月29日

債券

ブラジル

NOTA DO TESOURO 10% 1/1/17 /BR	ドル	6,240,756.75
NOTA DO TESO 10% 01/01/18/BRL/		4,621,800.41
LETRA TESOUR ZCP 07/01/17/BRL/		6,061,900.96
ブラジル計		<u>16,924,458.12</u>

インドネシア

INDONESIA 7.375% 09/15/16/IDR/		9,825,695.70
INDONESIA 7.875% 04/15/19/IDR/		7,516,636.42
インドネシア計		<u>17,342,332.12</u>

マレーシア

MALAYSIA 4.262% 09/15/16/MYR/		11,069,187.12
MALAYSIA 4.012% 09/15/17/MYR/		1,383,559.74
MALAYSIA 3.172% 07/15/16/MYR/		5,472,165.85
マレーシア計		<u>17,924,912.71</u>

メキシコ

MEX BONOS DES 8% 12/17/15/MXN/		2,660,982.61
MEX BONOS 7.25% 12/15/16/MXN/		3,415,684.11
MEX BONOS D 6.5% 06/09/22/MXN/		4,724,753.21
MEX BONOS 6.25% 06/16/16/MXN/		6,669,871.78
メキシコ計		<u>17,471,291.71</u>

オランダ

BK NEDERLAN 0.5% 06/22/16/TRY/		11,792,528.17
オランダ計		<u>11,792,528.17</u>

ペルー

PERU BONO SOB 8.6% 8/12/17		17,366,196.96
ペルー計		<u>17,366,196.96</u>

ポーランド

POLAND GOVERN 4% 10/25/23/PLN/		1,446,849.87
POLAND GOVE 2.5% 07/25/18/PLN/		5,390,349.90
POLAND GOVER ZCP 07/25/16/PLN/		10,450,018.64
ポーランド計		<u>17,287,218.41</u>

南アフリカ	
REPUBLIC O 8.25% 09/15/17/ZAR/	3,361,508.91
REPUBLIC O 7.25% 01/15/20/ZAR/	6,467,588.50
REPUBLIC O 13.5% 09/15/16/ZAR/	4,445,357.61
南アフリカ計	<u>14,274,455.02</u>
国際機関債	
IFFIM 6.1% 09/29/16/ZAR/	2,789,529.70
国際機関債計	<u>2,789,529.70</u>
スウェーデン	
SWEDISH EXP 5.5% 03/27/18/TRY/	1,645,529.68
スウェーデン計	<u>1,645,529.68</u>
タイ	
THAILAND 4.875% 06/22/29/THB/	5,317,165.58
THAILAND G 3.25% 06/16/17/THB/	6,155,190.25
THAILAND 3.875% 06/13/19/THB/	3,183,772.29
THAILAND 3.125% 12/11/15/THB/	2,998,573.13
タイ計	<u>17,654,701.25</u>
トルコ	
TURKEY GOVE 6.3% 02/14/18/TRY/	2,797,896.32
TURKEY GOVERN 9% 07/24/24/TRY/	1,879,226.15
トルコ計	<u>4,677,122.47</u>
債券計	<u>157,150,276.32</u>

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## <補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2016年7月19日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を29ページに併せて掲載いたしました。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

（2016年1月19日から2016年7月19日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
591 国庫短期証券 2016/5/30	24,330,973	567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,980
601 国庫短期証券 2016/7/19	19,020,392	566 国庫短期証券 2016/2/1	2,999,991
596 国庫短期証券 2016/6/20	14,390,312	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	2,095,779
588 国庫短期証券 2016/5/16	12,500,147	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	1,253,387
545 国庫短期証券 2016/7/20	9,200,000		
280 10年国債 1.9% 2016/6/20	5,190,674		
98 5年国債 0.3% 2016/6/20	4,490,374		
586 国庫短期証券 2016/5/12	4,000,096		
97 5年国債 0.4% 2016/6/20	1,900,241		
539 国庫短期証券 2016/6/20	1,470,011		

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

下記は、2016年7月19日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（55,360,787千円）の内容です。

### (1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2016年7月19日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 9,890,000	千円 9,890,058	% 17.5	% —	% —	% —	% 17.5

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年7月19日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	545 国庫短期証券	—	千円 9,200,000	千円 9,200,000	2016/07/20	
	605 国庫短期証券	—	190,000	190,010	2016/08/08	
	607 国庫短期証券	—	290,000	290,021	2016/08/15	
	610 国庫短期証券	—	80,000	80,008	2016/08/29	
	611 国庫短期証券	—	80,000	80,010	2016/09/05	
	593 国庫短期証券	—	20,000	20,003	2016/09/12	
	613 国庫短期証券	—	20,000	20,003	2016/09/12	
	558 国庫短期証券	—	10,000	10,001	2016/09/20	
合 計	銘 柄 数	8銘柄				
	金 額		9,890,000	9,890,058		

（注）単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第11期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第11期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A - 2 格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

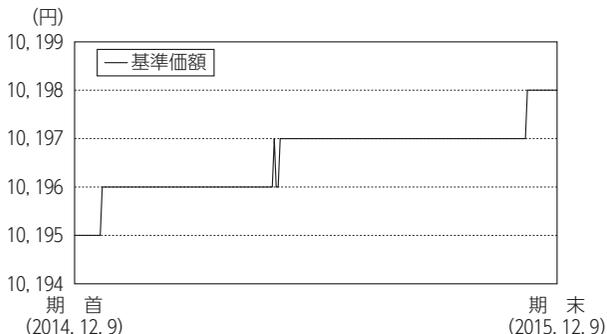
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,195円 期末：10,198円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2014年12月9日	10,195	—	60.0
12月末	10,196	0.0	88.5
2015年1月末	10,196	0.0	87.3
2月末	10,196	0.0	58.5
3月末	10,196	0.0	53.0
4月末	10,196	0.0	61.8
5月末	10,197	0.0	59.0
6月末	10,197	0.0	53.3
7月末	10,197	0.0	62.8
8月末	10,197	0.0	70.5
9月末	10,197	0.0	61.6
10月末	10,197	0.0	66.8
11月末	10,198	0.0	52.5
(期末) 2015年12月9日	10,198	0.0	55.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国	国債証券	千円 120,653,910	千円 ( 92,494,000)

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
550 国庫短期証券 2015/11/9	8,509,995		
548 国庫短期証券 2015/11/2	7,399,995		
559 国庫短期証券 2015/12/21	7,049,991		
563 国庫短期証券 2016/1/18	6,099,995		
555 国庫短期証券 2015/12/7	5,499,999		
557 国庫短期証券 2015/12/14	5,469,997		
568 国庫短期証券 2016/2/15	5,000,000		
567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,995		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,800,955		
520 国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975		

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作成期 区 分	当 期			末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	43,554,000	43,559,849	55.2	—	—	—	55.2

- (注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	当 期		末	
		年利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	537 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/12/10
	557 国庫短期証券	—	5,470,000	5,469,999	2015/12/14
	559 国庫短期証券	—	7,050,000	7,049,997	2015/12/21
	560 国庫短期証券	—	2,790,000	2,789,999	2015/12/28
	563 国庫短期証券	—	6,100,000	6,099,997	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	5,000,000	4,999,996	2016/02/08
	568 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,000	2016/02/15
	573 国庫短期証券	—	4,800,000	4,800,934	2016/03/07
	342 2年国債	0.1000	2,094,000	2,095,675	2016/07/15
100 5年国債	0.3000	1,250,000	1,253,250	2016/09/20	
合計	銘柄数 金額	11銘柄	43,554,000	43,559,849	

- (注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	43,559,849	55.2
コール・ローン等、その他	35,332,328	44.8
投資信託財産総額	78,892,178	100.0

- (注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ダイワ・マネー・マザーファンド

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>78,892,178,168円</b>
コール・ローン等	35,330,663,234
公社債(評価額)	43,559,849,888
未収利息	1,114,825
前払費用	550,221
<b>(B) 負債</b>	<b>—</b>
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>78,892,178,168</b>
元本	77,361,886,547
次期繰越損益金	1,530,291,621
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>77,361,886,547口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,198円

\*期首における元本額は25,162,158,471円、当期中における追加設定元本額は125,627,714,743円、同解約元本額は73,427,986,667円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、深センA株資本金拠出用ファンド(適格機関投資家専用)1,000,294,205円、ダイワ/RIC I (R)コモディティ・ファンド8,952,508円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)740,564円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード161,095,201円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型)132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型)643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型)12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンドーパラダイムシフトー49,096,623円、(適格機関投資家専用)スマート・シックス・Dガード1,919,351,400円、ブルベア・マネー・ポートフォリオIV23,032,151,009円、プル3倍日本株ポートフォリオIV47,552,576,868円、ベア2倍日本株ポートフォリオIV2,618,628,748円、ダイワFEグローバル・バリュー株ファンド(ダイワSMA専用)13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)日本円・コース(毎月分配型)23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)米ドル・コース(毎月分配型)2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)豪ドル・コース(毎月分配型)13,761,552円、ダイワ/UBSエマーシングCBファンド2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ46,913,699円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスIIー金積立型ー1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド(償還条項付き)為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(資産成長コース)49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨αコース)196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド(Dガード付/部分為替ヘッジあり)140,042,061円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジあり)9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命ー(為替ヘッジなし)29,440,629円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)日本円コース3,874,449円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα(毎月分配型)98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ7,567,671円、DCスマート・アロケーション・Dガード3,224,448円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド(ダイワSMA専用)490,418円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)トルコ・リラ・コース(毎月分配型)2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α(毎月分配型)株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー通貨セレクト・コース(毎月分配型)98,174円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,198円です。

### ■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>10,433,273円</b>
受取利息	10,433,273
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 362,189</b>
売買益	43,331
売買損	△ 405,520
<b>(C) 当期損益金(A+B)</b>	<b>10,071,084</b>
<b>(D) 前期繰越損益金</b>	<b>491,354,312</b>
<b>(E) 解約差損益金</b>	<b>△ 1,446,302,032</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>2,475,168,257</b>
<b>(G) 合計(C+D+E+F)</b>	<b>1,530,291,621</b>
次期繰越損益金(G)	1,530,291,621

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。